令和３年度　事務事業評価シート（１）
[令和2年度事務事業]

一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	軽費老人ホーム等事務費補助					事業番号	011-085
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well－being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現
			有	取組の方向性	⑤高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備		
		寄与するKPI	有・無	指標名	前期高齢者の要支援認定率		
			有	現状値	2.83%(2019年度)	目標値	2.30%(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画				堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画		
3	事業開始年度				平成　8　年度	点検年度	令和　7　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）				老人福祉法、堺市軽費老人ホーム事務費補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	軽費老人ホーム等を運営する社会福祉法人等（市内11施設）
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	軽費老人ホーム等を運営する者に対し、補助金を交付することにより、軽費老人ホーム等を利用する高齢者の利用料の負担軽減を図る。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	軽費老人ホーム（運営法人）の運営法人は、法令で定められた範囲内で入所者の所得に応じた低廉な利用料金を徴収しており、運営に必要な経費の一部について、堺市から補助を行うもの。 年度当初に補助金の交付申請を受付け、決定額を年に６回分割して概算払いにより交付する。また、年度末に補助金の実績報告を受付け、当該年度の補助金額を確定する。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	社会福祉法人　さつき会　外１０法人
10	公民連携・協働事業	

Ⅱ．事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標	
	軽費老人ホーム等を運営する社会福祉法人の事業の円滑な実施	
	当該目標を設定した理由	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、堺市内に必要な施設数及び定員数を定めているため。
	目標に対する実績	所得が低く家族等による援助を受けることも困難な入居者が必要とする食事・入浴等の日常生活におけるサービスの提供に対して補助金を交付したことにより、入居者の健康維持を図ることができた。

				実績		目標
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	市内経費老人ホーム入居者数	件	目標値	515	515	515
			実績値	503	502	
			達成率	98%	97%	
	当該指標を選定した理由	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に定める定員数を指標とすることで軽費老人ホームを必要とする高齢者のニーズにこたえていることがわかるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に定める定員数				

令和3年度　事務事業評価シート（２）

事務事業名	軽費老人ホーム等事務費補助	事業番号	011-085

Ⅲ．投入量

事業コスト

（単位：千円）

	項　目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	事業費（a）	375,026	368,597	369,020	360,768	352,823
	財源内訳　国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他　（　　）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	375,026	368,597	369,020	360,768	352,823
14	人件費　（b）	1,640	1,620	1,640	1,640	1,640
15	年間経費(c)=(a)+(b)	376,666	370,217	370,660	362,408	354,463

事業費の内訳

（単位：千円）

	項　目	年度		事業費	うち一般財源	項　目	年度		事業費	うち一般財源
16	事業費内訳　軽費老人ホーム等事務費補助金	R2	決算	360,768	360,768		R2	決算		
		R3	予算	352,823	352,823		R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		

Ⅳ．事業の効率性

単位当たり経費

		区　分	単位	令和元年度	令和2年度
17	①	市内軽費老人ホーム入居者数	人	503	502
	②	上記①にかかる年間経費	千円	370,217	362,408
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	736,018	721,928
	備考（算出についての説明等）	年度末時点の定員数に対する入居者数			

Ⅴ．評価

費用対効果に係る所見

18 軽費老人ホームを運営する法人に対して補助金を交付することにより、低廉な利用料金を維持することができ、ほぼ全室入居となっている。高齢者の住まい確保に対するニーズの高さが背景にある。
なお、当該事業を廃止することは下記理由から困難である。
・低所得高齢者の経済的な負担軽減を図り、生活の質を担保することが難しくなる。
・軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準が国及び市条例にて示されており、各政令指定都市においても、ほぼ国基準に準じた運用が行われている。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI･取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 軽費老人ホーム等を運営する者に対し、補助金を交付することにより、軽費老人ホーム等を利用する高齢者の利用料の負担軽減を図ることができ、堺市基本計画2025に記載されている「高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現」に寄与することができた。